

鹿児島医セン

鹿児島医療センター（循環器・脳卒中・がん専門施設）

2009.12 vol. 45

九州ブロック主催「循環器病エキスパートナース研修」を開催して

当院において、さる10月19日から30日までの10日間「循環器病看護エキスパートナース研修」を開催しました。今年で8回目となり、私は初回から担当させていただいています。当時、私は循環器内科の師長として1年目であり、研修の企画をどうすればいいのかかわからず、看護部長はじめ副看護部長の指導を受けながら担当看護師長と共に試行錯誤しながらプランニングしたことがつい最近のように思われます。これまでに100余名の研修生を受け入れました。平成14年の第1期生に当院の集中ケア看護認定看護師の田代祐子副看護部長がいます。この研修が動機付けとなり、より専門性を高めるために認定の資格を取得し、又副看護部長に昇任し現在は院内の講義だけでなく、九州管内の多くの施設から講師としての招聘を受けています。多くの研修生がそれぞれの施設で活躍している様子を耳にするたびに嬉しく思い、この研修を継続させてより効果的なものになろうという励みになっています。



研修の目的は「循環器病看護の質の向上を図るため、患者個々に応じた専門的なアセスメント及び看護実践ができる能力を育成する」という主旨で、対象者は5年以上の臨床経験及び循環器病看護の経験2年以上の者としています。したがって国立病院機構の能力開発プログラムを修了し、国立病院機構の理念に沿った看護を実践することができる看護師・ACTyナースに相応する看護師で中堅として活躍している人達です。今年度は九州管内11施設より14名（当院より3名）の研修生が参加しました。

内容は循環器病全般の講義、事例検討、実習となっています。最初は5日間コースでしたが、研修生の要望により、講義と実習の時間数を増やすために平成19年度から2週間10日間コースに変更しました。（資料1）前半は講義のみとし充実した内容で専門的な知識を習得することができました。



前半最終日事例検討会では「危機的状況にある循環器病患者の看護」をテーマに事前課題で提出され

た事例をもとにグループワークを展開しました。看護の専門性に視点をおき、循環動態の変化のある患者の生活援助や患者・家族への精神的な援助について討議しました。各グループで活発な意見が出て、個別性のある全人的な看護をまとめることができました。



研修生からは講義や事例検討会で循環器病領域の知識を深め、後半の実習に繋げる研修スタイルはとても理解しやすかったと好評でした。講義を担当する先生や看護師が実習



場で患者さまを通して、分かりやすく丁寧に指導してくれた事とても喜んでいました。

実習では、経験のない心臓外科手術の見学や16床のICU、年間2700例以上検査・治療をする心臓カテーテル室、心臓リハビリテーションなど当院ならではの臨床現場を体験できたことがいい勉強になったようです。又、「医師・看護師・コメディカル部門のスタッフ間の連携ができています。」「病棟スタッフが10例もあるカテーテル看護を落ち着いて静かに実施できている。」「ICUでは考える看護が実践されていた。」などの感想が聞かれ、自らの看護を振り返るきっかけとなったようでした。

2週間の研修を終え、研修生は研修の自己目標を到達し、循環器病エキスパートナースとしての新たな課題を胸にさわやかな表情で当院を後にしました。彼女たちが今回得た最高のものは、同じ目的を持つ看護師同士の出会いだったようです。お疲れ様でした。

（文責 教育担当看護師長 深川 俊子）

	10月19日	10月20日	10月21日	10月22日	10月23日	10月24日	10月25日	10月26日	10月27日	10月28日	10月29日	10月30日
第1日目	10月19日(月)	10月20日(火)	10月21日(水)	10月22日(木)	10月23日(金)	10月24日(土)	10月25日(日)	10月26日(月)	10月27日(火)	10月28日(水)	10月29日(木)	10月30日(金)
	10:00-12:00	10:00-12:00	10:00-12:00	10:00-12:00	10:00-12:00	10:00-12:00	10:00-12:00	10:00-12:00	10:00-12:00	10:00-12:00	10:00-12:00	10:00-12:00
	12:00-13:00	12:00-13:00	12:00-13:00	12:00-13:00	12:00-13:00	12:00-13:00	12:00-13:00	12:00-13:00	12:00-13:00	12:00-13:00	12:00-13:00	12:00-13:00
	13:00-14:30	13:00-14:30	13:00-14:30	13:00-14:30	13:00-14:30	13:00-14:30	13:00-14:30	13:00-14:30	13:00-14:30	13:00-14:30	13:00-14:30	13:00-14:30
	14:30-16:05	14:30-16:05	14:30-16:05	14:30-16:05	14:30-16:05	14:30-16:05	14:30-16:05	14:30-16:05	14:30-16:05	14:30-16:05	14:30-16:05	14:30-16:05
	16:10-17:15	16:10-17:15	16:10-17:15	16:10-17:15	16:10-17:15	16:10-17:15	16:10-17:15	16:10-17:15	16:10-17:15	16:10-17:15	16:10-17:15	16:10-17:15
第1日目	10月19日(月)	10月20日(火)	10月21日(水)	10月22日(木)	10月23日(金)	10月24日(土)	10月25日(日)	10月26日(月)	10月27日(火)	10月28日(水)	10月29日(木)	10月30日(金)
第2日目	10月20日(火)	10月21日(水)	10月22日(木)	10月23日(金)	10月24日(土)	10月25日(日)	10月26日(月)	10月27日(火)	10月28日(水)	10月29日(木)	10月30日(金)	
第3日目	10月21日(水)	10月22日(木)	10月23日(金)	10月24日(土)	10月25日(日)	10月26日(月)	10月27日(火)	10月28日(水)	10月29日(木)	10月30日(金)		
第4日目	10月22日(木)	10月23日(金)	10月24日(土)	10月25日(日)	10月26日(月)	10月27日(火)	10月28日(水)	10月29日(木)	10月30日(金)			
第5日目	10月23日(金)	10月24日(土)	10月25日(日)	10月26日(月)	10月27日(火)	10月28日(水)	10月29日(木)	10月30日(金)				
第6日目	10月24日(土)	10月25日(日)	10月26日(月)	10月27日(火)	10月28日(水)	10月29日(木)	10月30日(金)					
第7日目	10月25日(日)	10月26日(月)	10月27日(火)	10月28日(水)	10月29日(木)	10月30日(金)						
第8日目	10月26日(月)	10月27日(火)	10月28日(水)	10月29日(木)	10月30日(金)							
第9日目	10月27日(火)	10月28日(水)	10月29日(木)	10月30日(金)								
第10日目	10月28日(水)	10月29日(木)	10月30日(金)									
第11日目	10月29日(木)	10月30日(金)										
第12日目	10月30日(金)											

(資料1)

診療ひとくちメモ

12月1日は世界エイズデーです。

当院は鹿児島県のエイズ診療拠点病院のひとつで、血液内科がHIV診療を担当しています。厚生労働省のエイズ動向委員会報告では日本の感染者数はついに1万人を越え、さらに増加しています。鹿児島県でもこの5年間にHIV感染者・AIDS患者はどちらもほぼ倍増しており、九州では沖縄をのぞくと福岡、熊本について多い患者数です。10年ほど前から多剤併用の抗ウイルス剤療法(HAART療法)が導入されて以来、AIDSはもはや不治の病ではなく、適切な治療を行えば長期生存が可能な慢性疾患となりました。最近では新規薬剤の開発で副作用が少なく、また投与回数や服薬の薬剤数も減り、1日1回最低2個という投与方法もあります。とは言っても病状が進行しCD4リンパ球が極端に減少しAIDSを発症した状態ではやはり生命の危機に関わる病気であることには変わりありません。2008年のガイドラインでは治療開始の基準がCD4リンパ球数200以下であったものが、350以下に引き上げられました。早い段階での治療開始がCD4を早期に回復させ、非AIDS合併症による生命予後の悪化を防ぐこととなります。いかに感染早期の状態で見つかるか、あるいは感染を防ぐかという

Living Together? いま、何をすればいいのか聴かせて??

ことです。感染初期は自覚症状のないことがほとんどですのでHIVは感染していることを自分が気づかないうちに性的な行為を通じて他人に感染させてしまいます。梅毒やその他の性感染症、赤痢アメーバ、带状疱疹、口腔内カンジダ症、持続する下痢、原因不明のリンパ節腫脹、不明熱、これらの中にはHIV感染の関与も考える必要があります。日常診療の中でぜひHIV感染も頭の中において感染者の早期発見を心がけたいものです。

毎年12月1日は世界エイズデーです。Living Together?いま、何をすればいいのか聴かせて??が今年のテーマです。HIV感染が日本で増加し続けているにもかかわらず、今年には特に新型インフルエンザの流行もあり、身近な問題として捉えられていないのが現状です。偏見や差別を捨てHIVに感染している人も感染していない人もAIDSがどのような病気であり、HIV感染をどのように予防していくか正しい知識を身につけることが大切だと考えます。

(血液内科 大塚真紀)



新任紹介



小児科
レジデント するぎ のぶたか
摺木 信隆

10月から小児科レジデントとして勤務しております、摺木です。おもに不整脈や心雑音などで当院に紹介して下さった患者さまに、よりよい医療を提供できるように

今後とも諸先生方と連携を密にして取り組む所存です。何卒よろしくお願いたします。



麻酔科
レジデント たにぐち じゅんいちろう
谷口 淳一郎

平成16年に鹿児島大学を卒業し、2年間の初期研修を経て鹿児島大学麻酔科に入局しました。

入局後、鹿児島大学病院・鹿児島市立病院・鹿児島市医師会病院

での勤務を経て、平成21年10月より勤務させて頂くことになりました。

皆様にはご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願申し上げます。



血液内科
レジデント よしどめ だいき
吉留 大喜

10月1日付けで鹿児島大学病院から赴任しました。初期研修が終わったばかりの3年目で、市立病院で2年間の初期研修の後、半年間大学病院で消化器内科をして

おりました。赴任して約1ヶ月経ち、非常に多忙ですが、救急症例も多く、まだまだ勉強中の身としてはとても充実した日々を過ごさせていただいております。病院のシステム等不慣れな点も多く、皆様にご迷惑をおかけするとは思いますが、日々精進してまいりますので今後ともよろしくお願申し上げます。



第一循環器科
医師 おつじ ひであき
尾辻 秀章

平成21年10月1日より鹿児島医療センター第一循環器科に配属となりました尾辻秀章と申します。鹿児島医療センターはbiplane型のカテーテルの透視施設があり、

心臓血管外科併設もあり、これまで経験したことのないことが多い施設です。また他科の先生方も多く、ご相談することもあるかと思いますが、どうぞ宜しくご指導ご鞭撻の程を宜しくお願致します。

がん研修会のご案内

テーマ「トータルペインについて」

～社会的な痛み・スピリチュアルペインのアセスメント～

“患者さんの苦痛・苦悩に寄り添うケアについて、事例を通して考えます。”



- 日 時：平成21年12月25日(金) 18:00～19:00
- 場 所：鹿児島医療センター大会議室
- 講 師：講師：緩和ケア認定看護師 西 里佳

参加される方は、12月22日(火)迄に企画課(松尾)までご連絡下さい。

電話 099-223-1151 (内線 7303) FAX 099-226-9246

担当: 松尾(企画課)

鹿児島医療センター看護部教育委員会

編 集 後 記

12月に入り、今年も早いもので残り一月をきりました。街並みもクリスマスや年末に向けてだいぶ華やかになってきました。今年も暖冬だそうで寒いのが苦手な私としては嬉しいですが、温暖化の問題はやはり気になるどころです。

今年4月より連携室のメンバーとして本誌の担当となり、四苦八苦しなながら発行して

まいりましたが、幸いにも登録医の先生方をはじめ、当院の医師や看護師・スタッフのご協力のおかげで少しずつ紙面も充実してきたと感謝しております。来年もよりいっそうの充実を図るべく努力してまいりますのでご意見・ご協力のほど宜しくお願い致します。

(担当:井上)

■お問い合わせ先 独立行政法人 国立病院機構 **鹿児島医療センター** (循環器・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号 (代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246
http://www.kagomc.jp 脳卒中ホットライン ▶ **090(3327)5765**

【地域医療連携室】 濱田・大渡・井上・西・田添・中島・吉留・飯塚・木ノ脇・善福
直接電話 ▶ 099(223)4425 フリーダイヤルFAX専用 ▶ 0120(334)476
※休日・時間外は当直者で対応します。

